

集計結果

対象児童数		東松山市立桜山小学校			
		43			
分類	区分	対象問題数 (問)	平均正答率(%)		
			桜山小学校		
全体		14	64		
学習指導 要領の 内容	知識及び技能	(1) 言葉の特徴や使い方に関する事項	6	71.3	
		(2) 情報の扱い方に関する事項	0		
		(3) 我が国の言語文化に関する事項	0		
	思考力、判断力、 表現力等	A 話すこと・聞くこと	3	76.0	
		B 書くこと	2	61.6	
		C 読むこと	3	40.3	
評価の観点	知識・技能	6	71.3		
	思考・判断・表現	8	59.0		
	主体的に学習に取り組む態度	0			
問題形式	選択式	8	73.0		
	短答式	3	74.4		
	記述式	3	31.0		

※一つの問題が複数の区分に該当する場合があるため、それぞれの分類について各区分の問題数を合計した数は、実際の問題数とは一致しない場合がある。

問題別集計結果

問題番号	問題の概要	出題の趣旨	学習指導要領の内容			評価の観点			問題形式			桜山小学校				
			知識及び技能			思考力、判断力、表現力等			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	選択式	短答式	記述式	正答率(%)	無解答率(%)
			(1) 言葉の特徴や使い方に関する事項	(2) 情報の扱い方に関する事項	(3) 我が国の言語文化に関する事項	A 話すこと・聞くこと	B 書くこと	C 読むこと								
1一	津田梅子の二つの業績を明確に伝えるために、【スピーチメモ】と【スピーチ】の練習で上野さんが話した構成の説明として適切なものを選択する	目的に応じ、話の内容が明確になるようにスピーチの構成を考える				5・6 イ				○	○				79.1	0.0
1二	津田梅子についての【スピーチ】の練習で、 【資料②】と【資料③】を使った理由の説明として適切なものを選択する	資料を用いた目的を理解する				5・6 ウ				○	○				74.4	2.3
1三	津田梅子についての【スピーチ】の練習の 【資料②】の部分で話す内容として適切なものを選択する	目的や意図に応じ、資料を使って話す				5・6 ウ				○	○				74.4	0.0
2一	面ファスナーに関する【資料】の文章が、 何について、どのように書かれているかの説明として適切なものを選択する	文章全体の構成を捉え、内容の中心となる事柄を把握する						5・6 ア		○	○				76.7	0.0
2二	面ファスナーに関する【資料】の文章の中の「より」と同じ使い方として適切なものを選択する	思考に関わる語句の使い方を理解し、話や文章の中で使う	5・6 オ						○		○				97.7	0.0
2三	面ファスナーに関する【資料】を読み、メストラルは、何をヒントに、どのような仕組みの面ファスナーを作り出したのかをまとめて書く	目的に応じ、文章と図表とを結び付けて必要な情報を見付ける						5・6 ウ		○		○			25.6	4.7
2四	面ファスナーに関する【資料】を読み、面ファスナーが、国際宇宙ステーションの中でどのように使われているのかをまとめて書く	目的を意識して、中心となる語や文を見付けて要約する						3・4 ウ		○		○			18.6	14.0
3一	丸山さんの【文章の下書き】の構成についての説明として適切なものを選択する	自分の主張が明確に伝わるように、文章全体の構成や展開を考える				5・6 イ				○	○				74.4	2.3
3二	丸山さんの【文章の下書き】の ----- 部を【西田さんの話】を用いて詳しく書き直す	目的や意図に応じて、理由を明確にししながら、自分の考えが伝わるように書き直し方を工夫する				5・6 ウ				○		○			48.8	9.3
3三 (1) ア	丸山さんの【文章の下書き】の中の ----- 部アを、漢字を使って書き直す (ころがっている)	学年別漢字配当表に示されている漢字を文中で正しく使う	5・6 エ						○		○				86.0	4.7
3三 (1) ウ	丸山さんの【文章の下書き】の中の ----- 部ウを、漢字を使って書き直す (つみ重ね)		5・6 エ						○		○				53.5	9.3
3三 (1) エ	丸山さんの【文章の下書き】の中の ----- 部エを、漢字を使って書き直す (げんいん)		5・6 エ						○		○				83.7	2.3
3三 (2) イ	丸山さんの【文章の下書き】の中の ----- 部イで、 ~~~~部「残されています」の主語として適切なものを選択する	文の中における主語と述語との関係を捉える	3・4 カ						○		○				72.1	2.3
3三 (2) オ	丸山さんの【文章の下書き】の中の ----- 部オで、 ~~~~部「すぐに」がくわしくしている言葉として適切なものを選択する	文の中における修飾と被修飾との関係を捉える	3・4 カ						○		○				34.9	2.3

集計結果

対象児童数	東松山市立桜山小学校
	43

分類	区分	対象問題数 (問)	平均正答率(%)	
			桜山小学校	
全体		16	68	
学習指導要領の領域	A 数と計算	4	57.6	
	B 図形	3	51.9	
	C 測定	3	76.0	
	C 変化と関係	3	80.6	
	D データの活用	5	74.4	
評価の観点	知識・技能	9	75.2	
	思考・判断・表現	7	59.8	
	主体的に学習に取り組む態度	0		
問題形式	選択式	6	79.1	
	短答式	6	76.4	
	記述式	4	40.7	

※一つの問題が複数の区分に該当する場合があるため、それぞれの分類について各区分の問題数を合計した数は、実際の問題数とは一致しない場合がある。

問題別集計結果

問題番号	問題の概要	出題の趣旨	学習指導要領の領域					評価の観点			問題形式			桜山小学校		
			A 数と計算	B 図形	C 測定	C 変化と関係	D データの活用	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	選択式	短答式	記述式	正答率(%)	無解答率(%)	
1(1)	二つのコースの道のりの差の求め方と答えを書く	二つの道のりの差を求めるために必要な数値を選び、その求め方と答えを記述できる	1(2) ア(イ) 3(2) ア(イ) ※			2(1) ア(ア)			○			○			60.5	0.0
1(2)	500mを歩くのに7分間かかることを基に、1000mを歩くのにかかる時間を書く	速さが一定であることを基に、道のりと時間の関係について考察することができる				5(1) イ(ア) 5(2) イ(ア)			○			○			88.4	7.0
1(3)	㊦と㊧の二つの速さを求める式の意味について、正しいものを選ぶ	速さを求める除法の式と商の意味を理解している				5(2) ア(ア)			○			○			65.1	2.3
1(4)	午後1時35分から50分後の時刻を書く	条件に合う時刻を求めることができる				3(2) ア(イ)			○			○			95.3	2.3
1(5)	分速540mのバスが2700mを進むのにかかる時間を求める式を書く	速さと道のりを基に、時間を求める式に表すことができる				5(2) ア(ア)			○			○			88.4	2.3
2(1)	直角三角形の面積を求める式と答えを書く	三角形の面積の求め方について理解している				5(3) ア(ア)			○			○			46.5	2.3
2(2)	直角三角形を組み合わせた図形の面積について分かることを選ぶ	複数の図形を組み合わせた図形の面積について、量の保存性や量の加法性を基に捉え、比べることができる				5(3) ア(ア)	1(1) ア(イ)		○			○			72.1	0.0
2(3)	二等辺三角形を組み合わせた平行四辺形の面積の求め方と答えを書く	複数の図形を組み合わせた平行四辺形について、図形を構成する要素などに着目し、図形の構成の仕方を捉えて、面積の求め方と答えを記述できる				5(3) ア(ア) ※			○			○			37.2	0.0
3(1)	6年生の本の貸し出し冊数を、棒グラフから読み取って選ぶ	棒グラフから、数量を読み取ることができる						3(1) ア(イ)	○			○			97.7	0.0
3(2)	学年ごとの本の貸し出し冊数について、棒グラフから分かることを選ぶ	棒グラフから、項目間の関係を読み取ることができる						3(1) ア(イ)	○			○			93.0	0.0
3(3)	「114」は二次元の表のどこに入るかを選ぶ	データを二次元の表に分類整理することができる						4(1) ア(ア)	○			○			67.4	0.0
3(4)	帯グラフから、割合の違いが、一番大きい項目を選び、その項目と割合を書く	帯グラフで表された複数のデータを比較し、示された特徴をもった項目とその割合を記述できる						5(1) ア(ア) ※	○			○			34.9	11.6
3(5)	5年生と6年生の読みたい本と、多くの5年生と6年生に読まれている本を調べるために、適切なデータを選ぶ	集団の特徴を捉えるために、どのようなデータを集めるべきかを判断することができる						5(1) ア(イ) ※	○			○			79.1	0.0
4(1)	余りのある除法の商と余りを基に、23個のボールを6個ずつ箱に入れていくときに必要な箱の数を書く	示された除法の結果について、日常生活の場面に即して判断することができる						3(4) ア(ア) イ(イ)	○			○			88.4	0.0
4(2)	8人に4Lのジュースを等しく分けるときの一入分のジュースの量を求める式と答えを書く	商が1より小さくなる等分除(整数)÷(整数)の場面で、場面から数量の関係を捉えて除法の式に表し、計算をすることができる						4(4) ア(エ)	○			○			51.2	0.0
4(3)	30mを1としたときに12mが0.4に当たるわけを書く	小数を用いた倍についての説明を解釈し、ほかの数値の場合に適用して、基準量を1としたときに比較量が示された小数に当たる理由を記述できる						4(4) ア(ア) ※	○			○			30.2	7.0

※本設問においては、思考力、判断力、表現力等を見るために用いる知識及び技能を示している。